

教育研究業績書ご記入に際しての留意事項

(1) 「氏名」の欄について

印鑑登録証明書の記載と同じ氏名を本人が自署のうえ、押印してください。

※印鑑登録証明書を有さない方については、旅券（パスポート）にした署名と同じ文字及び書体で自署してください。

(2) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 「研究分野」の欄には、平成 29 年度まで使用されていた科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称又は「科学研究費助成事業審査区分表（総表）」の中区分の名称（「およびその関連分野」は省略可）を用いて、研究分野の主なものを 3 つ以内で記入してください。
- ② 「研究内容のキーワード」の欄には、「系・分野・分科・細目表」の細目又は「科学研究費助成事業審査区分表（総表）」の小区分を参考に、研究内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。

なお、各表に該当がない場合は、適宜記入してください。

(3) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。（200 字程度でご記入ください）

「教育上の能力に関する事項」の例

ア 「1 教育方法の実践例」について

- 授業外における学習を促進する取組
- ICT 機器を活用した授業方法
- 授業内容のインターネット上での公開等
- 司法研修所等の教育機関における教育経験

イ 「2 作成した教科書、教材」の例

- 作成した教科書
 - 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
- ※「研究業績等に関する事項」との重複可。その場合、本欄に「(再掲)」と記載してください。

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

- 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
 - 採用決定の際等における評価内容
 - 各大学における自己点検・評価での評価結果
- ※できるだけ客観性を持ったものについて記載してください。

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

- 大学から受け入れた実習生等に対する指導
- 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
- 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修

オ 「5 その他」

- 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- 国家試験問題の作成等

「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1 資格、免許」

- 医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ 「2 特許等」

- 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員
- 行政機関における調査官等の官職
- 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等

エ 「4 その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等

- ④ 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

(4) 「研究業績等に関する事項」の欄について

- ① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

- ② 「著書、学術論文等の名称」の項について

ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順(過去→現在)に通し番号を付して記入してください。

イ 著書については、書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

オ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

カ 当該著書、学術論文等が外国語の場合、著書等名(共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む)はその外国語で記入するとともに、() 書きで訳文を記入してください。当該著書等の概要は日本語のみで構いません。

- ③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、学会発表等の場合は「一」を記入してください。

- ④ 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

- ⑤ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

- ⑥ 「概要」の項について

ア 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。

イ 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要(200 字程度)のほか、以下の事項を記入してください。

- ・ 本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ(本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入してください)。
- ・ 本人の氏名(下線を付すこと)を含む著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)(当該著書等に記載された順に記入してください)。

- (4) その他、記載する内容がない項目については「なし」とご記入いただいて結構です。

なお、記入内容に応じて、行間・行数を調整していただいて結構です。

研究業績等に関する事項 記入例

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. 『○○○○』 著書には『』を使用 2. 『○○○○』	共著 単著・共著を記入 単著	昭和○年○月 元号で 年月まで記入 古い順に (過去→現在) 平成○年○月	○○出版社	第○章「××××」(○～○頁)を担当。 (全頁数○頁。福祉太郎、国見次郎、梅檀一) 内容自由記述(200字程度) 共著の場合、総頁数と執筆頁(章・節・題名)を記入。本人には下線をつける。 (全頁数○頁。)
(学術論文) 1. 「○○○○○○」(査読付) 論文には「」を使用	単著	平成○年○月	『○○学会論文集第39号』 掲載誌には『』、巻・号、 掲載ページ等を記入 報告発表等には学会大会 名・開催場所等を記入	 (全頁数○頁。)
(その他) 1. 『○○○○』 「学会発表」「調査報告書」「翻訳」等を記入	共著	平成○年○月	○○県知的財産部編 (例) 文部省科学研究費補助金 (No.) 総合研究 (W) 研究成果	第○章(6)「.....」(○～○頁)、第○章「.....」(○～○頁)、 第○章「.....」(○～○頁)、の各章を担当。 (全頁数○○頁。執筆者：北山三郎、東福四郎、梅檀一)